



1998年(平成10年)

新春号

[第9号]

発行 東京鉄構工業協同組合
 〒104 東京都中央区八丁堀3-9-5 KSビル6階
 -0032 TEL 03 (5566) 1 5 9 5
 FAX 03 (5566) 1 5 9 7



関係者多数を招き新年賀詞交換会



新年会の前に開かれた第8回理事会 (於: ロッテプラザ)



努力の継続で暖かい春を

理事長 金子 升一

新年、明けまして御めでとございます。

組合の皆様におかれましては、日常の厳しい活動から開放され、良い正月休みであったと推察致します。旧年中は、組合員の皆様の当組合運営に対する御支援・御協力に対し、改めて御礼を申し上げます。

1年を振り返ってみますと、ここ2年ほど景気回復の兆しがあると言われながら、昨年は証券・金融界の不祥事、大手証券会社、都市銀行、ゼネコンの相次ぐ倒産は、銀行をはじめ大手は倒産しないという神話が崩れました。今後どうすれば良いのかと考えている時に、お隣り韓国が国自体倒産というニュースまで入り、まさに激動の1年でありました。

私共業界は、安値受注をしない「断る」勇気を持つ、無理な稼働をしない「7割操業」に徹する、「企業エゴを捨て業界の共存をめざす」と組合員の意識革命を訴えておりましたが、皆様方の感じた昨年はいかがでしたか。このような時にこそ私共業界は、「きつい」「厳しい」を過去何回も経験しておりますから、暗い考えを捨て、様々な環境の変化に柔軟に対応する必要があるのではないのでしょうか。

まず、自社の内部をもう一度見直し、また業界人として組合活動にも積極的に参加し、業界が悪いといった他人事ではなく、自助努力を継続し、我々業界の地位の向上を図り、結束と協調をもって新時代を見据える必要があります。

この合理化努力の結果は、事業の大手、中小とは関係ありません。1つ1つ努力した者が生き残る事は、皆様よく理解している所です。

我々は今、真っ暗いトンネルの中で、最初は何も見えなく不安でありましたが、暗い所でも目が慣れてくれば周囲が何とか見えてくるものです。これが我々の現状とすれば、週40時間問題、第9次認定のクリアー、将来のISOへの対応等、とにかく問題点を1つずつ消去し、明るい未来を夢見ようではありませんか。

技術者の育成強化、製作技術の向上で暖かい春を迎え、21世紀に生き残りましょう。「量から質へ、売上げより利益を！」

(那須ストラクチャー工業(株))

副社長)

事業委員会報告

((総務・財務・広報委員会))

委員長 松田清明 副理事長



新しい年、平成10年という区切りの良い年を迎えて、そろそろバブル後遺症もどこかに飛んで行ってしまってくると良いのですが、どっこい敵はなかなか執念深く、日本経済の根幹にまで食い込んで、その毒に侵された人、会社が続々と犠牲となり、毎日のように、テレビ、新聞等で踊り、歌い、その健在ぶりを誇示しております。

とくに当業界では生産調整が進まず、余り物に価格無しのとえ通り、ほとんどの企業は、必要なランニングコストさえも稼ぎ出せない状態が長い間続いております。皆、身を削り、耐え忍んでおります。

もとより自由主義経済の下では、この様な状況が波状的に襲ってくるのは先刻承知のはずではありますが、つい泣き事も言いたくなるのが人情というもの。「新春号のめでたい紙面にふさわしからぬ、何事だ！」と怒って下さるな。いつの日にかまた、好景気が来でしょう。それまでガマン!

(松田鋼業(株)社長)

((経営対策委員会))

委員長 安井喜信 副理事長

昨年度は、経対に対して皆様の



御協力を賜り、誠に有難うございました。本年は、世評では旧年にも増して、建設業にとって全ての面において多難の年と言われています。

私達の仲間も何社か廃業、倒産という状況に追い込まれています。経対としては、昨年同様の活動方針で臨む考えでおりますので、ここに改めて列記します。

- (1) 物件情報制度
- (2) 耐震補強工事
- (3) 見積書等の統一
- (4) 近隣県との交流

まず、物件情報制度については、長い間かかって、ここまで到達致しました。この制度をさらに充実させ、情報交換をすることで、積算ミスを少なくすることだけでも十分に活用できることと思います。

次に耐震補強工事については、別に記しましたが、本年度以降の組合活動の中心になるテーマでもあり、組合員全体で活動できる要素もありますので、多大な御協力を御願ひ致します。

見積書等の統一について、昨年以降、全構連でも種々の検討がなされ、本年3月以降に説明会を順次行うことと思われま。見積範囲の考え方の統一、原価を意識した見積作りというテーマにより、今後、鉄骨業界の見積内容について、統一化された内容で比較検討できればという観点から作られています。

また、同業他団体との調整も行われていますので、将来は見積に関しては考え方を一本化できる様に努めたいと思います。3月以降、組合として講習会を開催致しますので、多数の出席を御願ひ致します。

近隣県との交流については、一昨年の千葉県、昨年の埼玉県と行ってきましたが、本年も検討の上、交流を行っていく予定です。

東構協の組合員は、近隣県に工場がある場合が多いのと、営業圏が関東ということを考えますと、この近隣県との交流活動は重要なテーマと思われるので、今後は積極的な参加を御願ひ致します。

本年も皆様の活動の一助になるべく頑張りますので、提案、意見がありました時は、事務局、委員に御連絡を御願ひ致します。

(信和鉄工(株)常務)

((資材共済事業委員会))

委員長 榎本敏昭 副理事長



寅年の1998年は、厳しい経済境のもとに明けました。財政デフレ、金融機関の貸し渋り、アジア通過の大幅な下落など、日本の経済・社会はどうなってしまうのだろう、と不安感を募らせる年明けでした。

日本の経済がここまで抜き差しならない状態に陥った最大の原因は、景気の現実に対する政府の判

断ミスによるところが大きいと指摘されています。建設業の中で専門工事業者として日々、経営に携わっている立場からみましても、そうした指摘にはうなづけます。

さて、我が東京鉄構工業協同組合の事業活動であります。厳しい環境下ではありますが、113社の組合員の発展のために、今年も一致団結して邁進していきたくと心から願っています。

私はその中で、賛助会員の皆様との協力関係をより深めて頂きたいと考えております。20社に及ぶ賛助会員企業は、我々ファブメーカー企業の経営に直接、関連する業務を行っています。例えば、鋼材や副資材、コンピュータによる構造や積算のハード・ソフト、経営者と社員のための保険業務など、いずれも日々の経営に直接、深い関係を有するものです。

これら我がファブ業界の業務に精通し、組合員企業の経営者・幹部と日頃の組合行事などを通じて交流を持つ賛助会員企業の東構協の組合活動への参画と協力は、組合員企業の経営面において大きな力となっていることに加えて、東構協の組合財政を支える一助になっていることを改めて強く認識して頂きたいと思っております。

我々ファブの経営に際して、最も密接な存在であり、有利な情報と最先端のハード・ソフトを提供して頂ける賛助会員企業との連携強化を図り、相互の発展を期したいと考える次第です。

(株)中島鉄工所社長

((認定検査事業委員会))

委員長 奥田 隆 副理事長

バブルが崩壊して7年、昨年4



月に消費税率引き上げ以降、経済はますます国民生活を圧迫しております。

拓銀をはじめとする金融機関の破綻、証券会社の倒産、さらに我々と最も関係の深いゼネコンの倒産。業界内でも疑心暗鬼の情報が飛び交うなかで、組合員の皆様におかれましては、的確な情報の収集と、それに基づく冷静な判断を日々努めていかなければならない極めて重大な局面に置かれているものと思われまます。

政府もようやく重たい腰を上げ景気浮揚優先を打ち出しましたがすでに遅きに失した間は免れません。

鉄骨ファブを取り巻く環境は引き続き厳しいものがありますが、こうした時期こそ、組合員が一丸となって事にあたり、諸事業を推進するなかで、我々の本来の使命である良質の製品を社会に送り出すことを心に誓って、頑張りたいと考えている次第です。

(叶産業(株)会長)

((技術教育事業委員会))

委員長 池田英敏 副理事長



激動する世界経済をみながら、

改めて低迷する日本経済の不況からの脱出が叫ばれています。

昨年までの常識も、今年は通用しなくなっていると言われております。景気の動向も非常な速さで展開されており、大きなうねりの中に巻き込まれた私達は、もがけばもがくほど、深みにはまってしまう、そんな危機感を感じている毎日であります。

技術教育事業委員会におきましては、第9次認定制度に対して、審査基準の変更対策フォローアップとして、各事業所の巡回指導を行う事となっておりますが、その節にはよろしく申し上げます。組合員の皆様、組合に対してどんな事を要望、あるいは必要としているか、忌憚のない御意見をお聞かせ下されれば幸いです。

私達は、巡回指導を通じて生きた対話の中から多くを学び、勉強し、そうした意見を大事に育み、事業活動にリンクすることによって、委員会の活性化を図る為に努力していきたくと思っております。

4地区それぞれの要望の違い等はあるでしょうが、基本概念の根っこは同じではないかと思われまます。今の時代、変化、不況に耐えられる企業体質の構築は今まで以上に求められております。「スピード、イーツ、スロー」。速いものが遅いものを食べてしまう。裏返せば、勉強しないものは時代に呑みこまれてしまう。トップみずからの変革、改革であり、教育であると思っております。自身を護る為に、組合に対して何が出来るか問われている時代です。

皆様方の御参加と御協力を宜しくお願い致しますと同時に、皆様の益々のご発展を祈念申し上げます。

(池田鉄工(株)社長)

地区長あいさつ

東地区長

松本 英井千理事



どうにか新年を迎えることができましたが、ちっともおめでたさを感じないのは私だけではないと思います。当組合員の方々も新年

早々難局に会われている方も少なくないと思われます。先の見えない年がまだ始まったばかりだと思ふと気が重くなりますが、なんとか乗り越えるべく努力をしていこうと考えております。東地区長としましては時節柄、改めて抱負も公約ありません。微力ながら、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

さて、最近の当業界の傾向を横目で眺めてみると、どうも仕事の流れに偏りがあるようにみえます。

ゼネコン側も鉄骨業者側も互いに疑心暗鬼となり、それに総合商社のランク表、鋼材商社の販売先の洗い直しなどが錯綜して相手を選別しすぎ、仕事はたくさんあるのに販路に自信がもてず、商売がスムーズに流れない構造に陥っているようです。また結果として発注に不自由をするゼネコンと、かたや逆に業者が溢れ過当競争に拍車をかけている世界があります。

ただ一つの救いは、以前のように10万円を割るような価格はみられないこと。ここ一番奮起のしどころでしょう。

(松本工業(株)社長)

西地区長

森 明理事



例年になく1月に降った大雪は、ここ西地区にあっては都心に比べ2倍以上の積雪になり、寒さに拍車をかけ、あたかも日本経済を思

わせる厳しさを感じさせられます。

昨年は当西地区からも退会者を出し、組合員数の減少が気になりましたが、本年に入り早々、加入意志を寄せられた地元ファブの声にも接して「今年こそは」と、わずかながらも希望を抱かずにはられません。昨年11月に私が地区長をお引き受けして、初めての地区会を開催したところ、過半の皆様のお出席を頂き、盛会裏に議事及び懇親会をとりもてました事をお礼を申し上げます。本年は前後半の

2回程度の開催を考えておりますので、よろしく願いいたします。

また同じく昨年12月に行われました埼玉組合との交流会には、西地区が隣接地区であります関係で、多くの出席を期待していましたが、私を含め2名にとどまり残念な思いでした。しかしながら、全体としては大変期待され、有効な交流会でありました。

後日、同席のファブより競合見積りの照会も受けましたし、改めてその意義を報告させていただきます。

(日本鉄構建設工業(株)社長)

南地区長

辻川 幸四郎理事



※ 北地区長を務められていた鈴木能光理事は、会社（弥生建設工業(株)）が会社の都合により地区長を務めることが困難となりました。

昨年はゼネコンの倒産、金融機関の破たんなど終始暗いニュースで、我々ファブに厳しい年でありました。本年も残念ながら政府の緊急経済対策、公共工事前倒しなどが実行されても総工事量の減少は免れず、鉄構業界を取り巻く経営環境は一層厳しくなるものと思われる。

このため東構協では1月28日に開催した第8回理事会におきまして、後任の北地区長に木崎康允理事（コバ建常務）を選任致しました。

これに対処するには、組合員各社の結束、経営基盤の安定、技術の向上に努め、皆様が組合活動に積極的に参加されることを望みます。

10年度中に南地区地区会とパトロールを行います。よろしく御願ひ致します。

(株)辻川鉄工所会長)

皆様方のご理解のほど、よろしくお願い致します。

審査委員長 年頭所感



今年は金融不安の暗い影が日本全体をおおう、重苦しさの中で新年を迎えました。

昨年は工場認定も第9次ということで、基準、規程の大改定が行われた。その初年度、審査する側も受ける側も従来の発想を大幅に転換し、果敢に実行しなければならない年でありました。審査委員会も、内外からその存在、そして健全に機能しているか、信用度を試されました。幸い審査は組合員皆様の多大な努力と、世の経済万能主義に惑わされることなく、品質向上に努められ、現状では完全とは言えないものの、最善の合意が得られたものと確信しているところです。審査委員には、バランス機能を

発揮され、対象を誤らない最良の判断をして頂き、本当に有効な審査ができたと考えております。過大な意見をされてもそれを容認し、最終的には的確なる判断をされたことは英断と評価されると思われまます。委員の方々には、改めてお礼申し上げます。

21世紀まで残すところあと3年。かつてのような活力を取り戻せるのか、このまま衰退の坂道を下るのか、日本はきわどい岐路に立たされています。わが国は現在、行政、財政、金融、社会保障、経済構造、教育の6大改革に取り組んでいます。これらの改革は、それぞれの分野について戦後50余年のあり方を根本から見直し、不要な部分や弊害を生じているものを取り除き、良いものを残しつつ、必要なものを付加するという、いわゆる新しい“国造り”というべき革命的な作業に入っています。こう

照沼 弘 委員長

した中で、我が鉄骨業界も、少なからず、この影響を受けることになると思われまます。今年はこの一つの潮流として、我が鉄骨業界も転換期を迎える可能性が大きいと思われまます。

そこで、現状の危機的な経済状態の打開から、各種改革による新たな鉄骨の世界への“国造り”へと挑戦する年になると信じる次第です。その為、高い理念、目標を持って、今こそ組合員が一致団結し、この経済危機を鉄屋の気概を持って克服し、未来に進むものと信じ、活性化への道を切り開くべき時と考えています。

大幅な成長を望めない低成長時代という現実を踏まえ、意気の上からない経済状況下に、せめて一生懸命に物を作っている者の「生活の質の向上」などを求め、積極的に幅広く行動を起こし、少しでも上向きな年にしたいと心より願っています。
(久米設計監理部副理事部長)

東京鉄構工業協同組合 審査委員

委員長	照 沼 弘	(株)久米設計・監理部・副理事・部長
副委員長	内 田 三 雄	(株)日建設計・東京本社・監理部 技術長
副委員長	田 極 義 明	(東京都都市計画局・多摩西部建築指導事務所・専門副参事)
副委員長	吉 澤 昌 芳	(株)石本建築事務所・第4設計統括室 設計監理1部長
委 員	半 貫 敏 夫	(日本大学・理工学部建築学科 教授)
委 員	田 中 欣 章	(株)松田平田 建築・技術設計室 構造設計部 担当部長
委 員	津 山 巖	(株)日建設計・東京本社・構造部 技術長
委 員	大 塚 誠	(株)久米設計・構造設計部 副部長
委 員	中 本 浩 二	(株)日本設計・構造設計群・構造設計部 主管

Rグレード 部会 活動報告

会長 城所 勇 理事



今年度は昨年4月の総会以降、以下の通りの活動を展開致しましたので御報告します。

▽平成9年6月4日(幹事会)

今後の活動方針について。

▽ 〃 7月4日(同)

工作基準の検討、全員協議会の準備打合せ。

▽ 〃 7月23日(同)

全員協議会の準備打合せ。

日建設の内田先生の指導のもと、工作基準・製作要領書の作成を検討。

▽ 〃 8月2日(全員協議会)

内田先生より工作基準・製作要領書の説明、ISO、AWAについて、Rグレードファブの対応の説明。また、RグレードのPR方法などを討議。

▽ 〃 9月3日(幹事会)

PRパンフレットの作成討議。

▽ 〃 10月14日(同)

▽ 〃 11月13日(同)

同

▽平成10年1月9日(同)

PR方法討議。組合提出義務書



幹事会の風景(於:事務局)

類の整理について確認。

.....
今年度は新認定制度が始まります。Rグレード部会はPR紙の作成とPR方法を活動の中心テーマとして取り組んでいく予定です。今後とも皆様方のご協力のご理解、お願い致します。

(有)城所鉄建工業社長)



青年経営者委員会 活動報告

齊藤 敏雄 担当理事



平成9年度の総会において、新幹事長に吉岡氏(吉岡工業(株)専務)を選出、副幹事長に杉本氏(株)一本木鉄工社長)、安原氏(株)安原鉄工所専務)、白柳氏(松田

鋼業課長)、青連協関東ブロック担当を私が務めることになりました。幹事には鈴木氏(コバ建取締役)、辻川氏(株)辻川鉄工所社長)、中川内氏(株)中川鉄工所社長)、小島氏(小島工業(株)部長)、池田氏(池田鉄工(株)専務)、石郷岡氏(株)石郷岡工業)、涌田氏(わくた工業(株)、中央会青年部担当)、堀江氏(東亜鋼業(株)社長)、角鹿氏(株)角鹿鉄工専務)、牛島氏(有)牛

島工業所専務=会計担当)、前幹事長の黒沼氏(大伸鉄工(株)専務)を決定致しました。

おもな活動は、青連協四国大会などへの参加のほか、各種講習会勉強会に積極的に参加致しました。また、使用済みテレカ収集へのご協力有り難うございました。おかげ様で青経委は上位の成績でした。

環境厳しい折ですが、今後とも一丸となって活発な活動を展開していく所存です。関係者の皆様のご理解、お願い申し上げます。

(齊藤鉄工(株)社長)

((平成10年度活動計画

吉岡晋吾幹事長))



幹事会において検討致した結果、以下の通りに決まりました。

2月21日=所沢西武球場ドーム建設現場見学会、3月=積算・見積り勉強会、5月=第8回通常総会、6月=他県青年部交流会、7月=社内工作基準勉強会、8月=納涼会、9

月=NDI工超音波学科対策勉強会、10月=工場見学会、12月=忘年会。

今年度は、できるだけ多くの組合員の方々と出席いただけるような内容の講習会や見学会を予定、各社の通常業務に即活用でき、今後の仕事の参考になるような密度の濃い会にしていくつもりです。

(吉岡工業(株)専務)

耐震補強工事の取り組みについて

安井喜信副理事長

東構協理事会において、本年度の組合活動の目玉として、夏期休暇に東京都区部および市町村で行われる小学校、中学校の校舎、体育館等の耐震補強鉄骨工事について、技術・施工に関して共同研究・共同施工を実施すべく、現在、経近委を中心に方法を検討中であります。

昨年に引き続き、本年以降も大量に工事が出件される予定であり、施工方法を組合員の中で希望者を募集し、検討することは、今までにない画期的な試みと思われます。

昨年までの施工の反省会を兼ねて、3月以降に新年度の調査と併せて、研究会を開催致しますので、

多数の参加を御願ひ致します。特に、ほとんどの工事が7月20日から8月末日までの工期に集中するため、技術・施工について、今から十分に研究し、低コストで工期短縮のできる方法等を研究していきたいと思ひます。

また、通常のグレード指定は「Mグレード」以上が多いようですが、東構協としてはM、Hグレードの協力を得ながら、Rグレードの組合員についても共同施工に加わっていただき、来年度以降の実績につながればよいと思ひます。

現在「耐震補強工事」では、鉄骨工事のほかにアンカー工事、グ

ラウト工事等の異業種も施工をしていますので、施工方法・技術協力等についても十分な話し合いを行いながら協力して施工にあたりたく、関係業種との調整にあつている次第です。

この耐震工事を通じて、将来的に「共同受注」「共同施工」、ひいては長野県などで実施しつつある「適格組合」へのステップになるかもしれませんので、組合員各位も今までの「物件情報による届出」「受注工事報告」等の諸報告を事務局へ完全報告し、耐震補強鉄骨工事」が今後の組合活動の中核となるように、御協力を御願ひ致します。

趣味 拝見

釣り

森 明理事

自分に趣味を問われればその事をかかないくらい多趣味であることを申し上げたい所ですが、事まとを絞って申し上げれば、一口に言って「海の遊び事」となります。釣りが高じて船を持ち、船が高じて友を持つ。当年60歳の大台を迎え、早く仕事を卒業して趣味に専念し、鉄骨を趣味にしたいと思っている今日この頃です。いざ語らん釣りのこと！

最初に海釣りを習ったのは同業先輩のS氏。千葉の大原に同行し大波に揺られ、しょぼ降る雨に打たれ、出すものを出しつくす嘔吐に苦しみ、ひたすら帰港を願った釣行は、思い出の第1打でありました。そんなにまでしてなぜ釣りにのめりこんだのか、それは釣った魚が「うまかった」からです。味に魅せられ、釣りに凝る。

よくあるパターンとは言え、持前のしぶとさと、凝り性が高じて、月

並みに乗合船での釣行に我慢できず、14フィートに50HPの船外機をつけたボートを購入し、トレーラーで伊豆東海岸までも出向き、せっせと釣りあさりました。しかし、船と言うものは大きな船へとエキサイトする定石があり、14fを22f、27f、35fと4ぱいを乗り継いで来ました。

釣り仲間、船仲間が集うマリクラブに多くの仲間を得ることの出来た今日、それぞれが1日の出漁で得た獲物を自慢の包丁に腕をふるい、うまい酒を汲み交わして、沖の話と逃した魚の話に花を咲かせる。そんな楽しみを鉄骨の仲間にもお世話したいと、自前のマリクラブも創設し、当組合の先輩諸氏にも入会して頂き、増々華やかな宴会が出来る準備を整えています。ぜひ一度ビジターとして参加下さい。船のことを付け加えると、35fはオーストラリア製「レインジャマリーン」。12人定員の主として宴会船、27fが「ヤマハフィッシングボート」10人定員の釣り船です。

釣った魚は、小は東京港の白ギス、ハゼから、モルジブで釣った1.2mのバラクーダまで50種。地

元の大ものは東京港横浜沖のスズキ90cmで、数年前、鉄構技術紙面で紹介して頂き、ニコリ笑って大きな魚を下げている写真を記載して頂きました。今年もスズキは当たり年で、正月には合計4匹を釣って新年を祝いました。これから水ぬるみ、おだやかな陽気ともなると、わかめをつみ、あさりを掘り、キスを釣り、アジを釣り、カサゴを釣り、毎週末が待ち遠しくなります。最後に釣った魚50種一覧を披露させていただきます。

キス、メゴチ、カレイ、アイナメ、アナゴ、ギンボ、グチ、カサゴ、ハゼ、メバル、タナゴ、ボラ、タチウオ、ベラ、ウツボ、サヨリ、カマス、マダイ、クロダイ、イシダイ、メジナ、コノシロ、イワシ、アジ、サバ、アマダイ、カワハギ、マナガツオ、スミヤキ、ソイ、イサキ、マグロ、シイラ、カツオ、ソーダ、サワラ、ブリ、カンパチ、フグ、ホウボウ、スルメイカ、ヤリイカ、バショウイカ、アカイカ、スミイカ、メゴチ、キンメダイ、カゲキヨ、スズキ、バラクーダ。皆様、名前と姿が一致しますか。

賛助会員一覧

会社名	本社・所在地	代表者	役職名	TEL	FAX	取扱主商品
	東京都内営業所所在地					
大日本塗料(株)	東京都大田区蒲田5-13-23 蒲田シティビル	島田直之 伊澤良三	次長 課長	03-5710-4501	03-5710-4520	塗料全般
大同生命保険相互会社	東京都中央区日本橋2-7-9 住友日本橋ビル	吉田修作	首都圏地区 営業本部 営業推進部長	03-3241-4311	03-3278-9676	生命保険
	東京都中央区日本橋2-7-9 住友日本橋ビル	元上佳宏	担当課長	03-3241-4343	03-3274-5924	
エヌケーケー トレーディング(株)	東京都中央区日本橋久松町4-4 糸重ビル6F	斉藤栄二	建築建材・ 厚圧営業室	03-3660-1511	03-3660-1528	鋼材全般、エクセルビーム
	東京都中央区日本橋久松町4-4 糸重ビル6F	秋元秀介	建築建材・ 厚圧営業室	03-3660-1511	03-3660-1528	
野水鉄興(株)	東京都千代田区神田西福田町3	野水清志	代表取締役	03-3256-0271	03-3256-0265	一般鋼材・非鉄化成品
本多酸素(株)	東京都江戸川区北小岩2-33-19	本多達磨	代表取締役	03-3658-2121	03-3658-3660	高圧ガス、溶接材料
	埼玉県八潮市大字木曾根字下1218-1	丸橋進	営業担当	0489-95-9151	0489-97-4073	
(株)東京ネジ製作所	東京都葛飾区西新小岩5-3-18	岡部純	社長	03-3696-6661	03-3696-6664	ハイテンションボルト、ベースバック、NCベ ース、アンカーボルト、プレス、金物製作
	東京都葛飾区西新小岩5-3-18	西野秀行	営業課	03-3696-6661	03-3696-6664	
(株)茗和検査	千葉県八千代市上高野1082	斉藤進	営業部長	0474-85-8990	0474-85-2331	非破壊検査
東日本工業検査(株)	千葉県千葉市稲毛区長沼町247-45	北川明則 小笠原潔	代表取締役 専務取締役	043-286-1173	043-286-0079	非破壊検査
愛知産業(株)	東京都品川区北品川5-3-20	井上裕之	取締役社長	03-3447-0201	03-3449-2143	各種溶接機器、溶接用ワイヤ ー他、溶接関連機器他
	東京都品川区北品川5-3-20	原田滋	営業第一部長	03-3447-0201	03-3449-2149	
協和熔材(株)	東京都港区東麻布2-21-4	森田義一	代表取締役	03-3505-8661	03-3505-8664	溶接材料、工具、鉄骨加工機械、産 業機器、検査器具、各種高圧ガス
	東京都港区東麻布2-21-4	入江研二	営業担当	03-3505-8661	03-3505-8664	
(株)ドッドウエル ビー・エム・エス	東京都中央区銀座1-14-9銀座スワロービル	佐々木秀吉	代表取締役社長	03-3561-9331	03-3561-9330	S/Fシリーズ(鉄骨CAD、鉄骨積 算システム)及び事務器全般
	東京都渋谷区渋谷1-22-10T.Bミヤシビル	山田貴志	副社長	03-5485-5961	03-5485-8651	
松下電器産業(株) 東部FA営業所	東京都港区芝大門1-1-30	浜口隆男	営業所長	03-3438-5067	03-3459-5437	溶接装置、機器、各種ロボット
	東京都港区芝大門1-1-30	井手和人	課長	03-3438-5067	03-3459-5437	
石原薬品(株)東京支店	兵庫県神戸市兵庫区西柳原町5-26	阿久津敏次	代表取締役	078-681-4801	078-651-6784	スパッター付着防止剤(ユニ コン・ノン・スパッター)
	東京都北区田端新町3-16-4	富永克英	第4営業部主幹	03-3810-1621	03-3810-1620	
ダイニッカ(株)東京支店	東京都中央区八丁堀1-9-5	横地将男	代表取締役	03-3552-3151	03-3552-3162	全構連指定塗料他、塗料全 般及び化学品関連工事
	東京都中央区八丁堀1-9-5	岡部祥司	副支店長	03-3552-3163	03-3552-3162	
アメリカンファミリー生命保険 会社特別代理店(有)丹治	東京都千代田区美土代町7神田第2中央ビル	鳥畑昇	支社長	03-3219-7171	03-3219-7180	がん保険、介護年金保険、 医療保険
	埼玉県春日部市藤塚2171-389	丹治真喜子	代表取締役社長	048-735-7690	048-735-9740	
富士見興業(株)	東京都杉並区高円寺南1-27-11	名取孝人	代表取締役	03-3314-5712	03-3314-5818	溶接材料、工具、鉄骨加工省力機械、産 業機械、産業設備機械、各種高圧ガス
	東京都杉並区高円寺南1-27-11	大竹重信	常務取締役営業本部長	03-3314-1430	03-3314-5818	
AIU保険会社青林保険事務所	東京都台東区上野3-18-7東京建物ビル3F	金子直行	代表者	03-3839-7216	03-3835-9283	損害保険商品
(株)正栄商会	東京都江東区亀戸6-55-20	岡田勝	代表取締役	03-3682-7821	03-3685-6422	皮手袋、ガウジング棒、フラッ クスタブ、溶接面及びガラス
	東京都江東区亀戸6-55-20	角谷利雄	営業担当	03-3682-7821	03-3685-6422	

(事務局からのお知らせ)

総会日程決まる

第12回通常総会(予告)

日時 平成10年5月19日(火) 場所 鉄鋼会館 予定 総会 午後3時~5時 606号室 懇親会 午後5時~7時 601号室

※平成9年度 組合員異動(平成10年2月20日現在)

(入会)

有限会社中央製作所
有限会社矢萩鉄工

東邦技研株式会社

(退会)

株式会社植村組
中野角工業建設株式会社

編集後記

昭和から平成に年号が変わって今年で10年目。何か今年は政治、経済、社会、文化等あらゆる分野において大変革が起き、歴史的にも大きな節目の年となる様な予感がします。ビッグバンは金融業界

のみならず、その拡散の余波は全ての分野に拡がって行き、我々ファブ業界にも痛烈な一撃を加えてくるものと思われま。しかしファブ業界も荒波に翻弄され、ジリ貧になるのを、ただ手を拱いて傍観している訳にはいきません。

この様な大激変の時代こそピンチをチャンスに変える絶好の機会です。どうしたら未来ある業界に変身できるのか、原点に戻って考えながら、鉄骨屋としての矜持と自信を持って臨みたいと思います。(K・O)